

# 『私と絵』

初めまして。私は八王子在住の**畠山文男**です。私は絵が大好きです。趣味か

ら絵を始めましたが、今はプロの絵描き人になれるように、いつもスケッチブックと  
デューブ絵の具セットを、バッグの中に入れて持ち歩いています。私は絵を描くこと  
に一筋ひとすじです。絵は人生そのもの、からだ身体の一部とも言えます。初めて絵を描いたのは、  
私が4歳の時でした。当時小学生頃の兄さんが描いているのをおもしろそうだなと思  
い、真似まねて描いたのがきっかけでした。絵は家族とのコミュニケーションをとるのに  
も役立ちました。耳が不自由なため、言葉を知らなかったので、文字を書く代わりに  
絵を描いて、母や兄弟に気持ちを伝えることができたからです。

ろう者である僕はデッサンをするというのは、物をどのように観みるかということだ  
ある。一人の人間がどれだけ深く、物を観たかを証しょうすものがデッサンだからである。  
何を描くにもすべての基本になるのがデッサンです。人間や動物という自然はみんな  
大好き、見ているだけで体温ぬくの温もりが心に広がりますね。鉛筆を握にぎった時、僕たち  
自みづから、音のない世界の中に一心不乱いっしんさんらんで集中して物の意味も説明も求めることもしな  
い、ひたすら、形を追い存在を確かめる、デッサンを続けるために物への無償むじやうの愛  
がなければならぬ、つまり物を観続けことによって、その果てに初めて自分が見え  
てくる。

私のろう学校（中学時代）の大先輩である大原省三先生が来校した時に、デッサン  
の描き方を教えて貰もらったことを覚えています。「身に付けるのに、同じ物を100枚位  
デッサンして練習するといい」とおっしゃるのです。デッサンが大切であると思う。  
今も、目の前にある物等を描いたり、イラスト水彩画で人物、美しい風景を描くと楽  
しみです。誰か（家族）、神様に感謝している、絵を描く前に瞑想めいそうで心をリラックス  
してゆっくり深呼吸して描いています。するとイメージが浮かんで見えることもある。  
皆さんもやってみてくださいね。いつか一緒にスケッチをしてみたいですね。

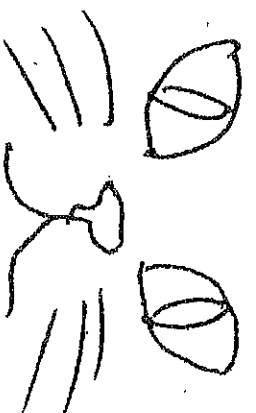
★猫を描くときには、このような順番で描くと描き易やすいですよ。

① →

② →

③ →

④



まず鼻を  
描いてみる

次に口を  
描く

目を描く

全体を描く